

障がいがある人を支える制度づくりには・・・

きょうされん第38次国会請願署名・募金にご協力ください!

あなたの“署名・募金”が必要です!

京都生協ときょうされん京都支部は 1990 年に協定を結び、組合員の皆さんに毎年ご協力をいただいている「国会請願署名・募金」やきょうされん商品の企画等の提携を進めています。

38回目をむかえる「きょうされん国会請願署名・募金」は、障がいのある人たちの切実な願い・声を国や国会議員に届ける大切な取り組みとなっており、これまで多くの障害者施策の改善につながってきました。今回は、障害者総合支援法を見直し、障がいがある人もあたりまえに働きえらび暮らせる社会を目指す取り組みです。一層のご理解、ご協力をお願いします。

◆署名用紙は、注文書フォルダーへ入れて担当者にお渡しください。

- ・署名は、年齢・国籍を問わず、どなたでもOK!(提出は3月末まで)ぜひ、ご家族みなさんで署名をお願いします。
- ・住所が同じ場合は、「〃」で省略も可能です。

998	999
きょうされん募金	一口100円
	100
X	3

1000円募金は“10”と記入してください。

◆募金は2月4回～3月3回の注文用紙で。

①商品代金とともに募金を引き落としさせていただく場合は、2月4回～3月3回の注文書の以下の番号に口数をご記入ください。

注文番号 **999** : 「募金・1口 100円」

② たまったポイントから募金していただく場合は、2月4回、3月1回・3回(3月2回のみポイントからはできません)の注文書の注文番号記入欄に以下の番号と口数をご記入ください。

注文番号 **279960** : 「ポイントから募金・1口 100円」

◆eフレンズの「注文番号で注文」でも、①②の注文番号と口数を入力することで募金していただけます。ぜひご協力をお願いします!

※募金は、署名活動の経費、きょうされんや各作業所の活動経費として活用させていただきます。

あたりまえに働き えらべる暮らしを ～障害者権利条約を地域のすみずみに～

今回の請願項目は4つです。

- ① 障害者総合支援法の見直しにあたっては「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」を尊重してください。
- ② 介護保険優先原則を見直し、年齢によって新たな負担が生まれないようにしてください。
- ③ 地域活動支援センターを自立支援給付に位置付けてください。
- ④ 障害者関連予算を少なくとも先進国の平均レベルに引き上げてください。



きょうされん京都支部・京都生活協同組合
提携20周年記念マーク

「きょうされん」って

きょうされんは、1977年に全国で16カ所の共同作業所によって結成し、今日では、約1900カ所の会員(京都支部では、109会員)に広がり、小規模作業所をはじめ授産施設やグループホーム、生活施設、生活支援センターなど、障害のある人たちが働き、暮らす場も充実させてきました。

昨年の国会請願署名・募金運動に、ご協力ありがとうございました!

京都府では173,728筆の署名と822万円余りの募金、そのうち、京都生協の皆さんからは11,984筆、310万円余りが寄せられました。ありがとうございました。全国から集められた約117万筆の署名は衆参両院に付託されましたが、残念ながら衆議院では「保留」、参議院では「不採択」となりました。

きょうされん京都支部 京都市右京区西京極西池田町50

TEL075-323-5321/FAX075-315-7281 E-mail kyoto@kyosaren.or.jp



裏面も見てネ!